



平成 23 年 10 月 24 日

各 位

会 社 名 株式会社コロナ
代 表 者 代表取締役社長 内田 力
(コード番号 5909 東証 1 部)
問 合 せ 先 常務取締役常務執行役員経理部・
広報室担当兼経理部長 及川 良文
(TEL 0256-32-2111)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

記

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 23 年 5 月 13 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 平成 24 年 3 月期 第 2 四半期累計期間連結業績予想数値の修正(平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成 23 年 5 月 13 日発表)	34,400	△20	140	20	0 円 71 銭
今回修正予想(B)	38,060	1,500	1,680	900	31 円 88 銭
増減額(B-A)	3,660	1,520	1,540	880	—
増減率(%)	10.6	—	—	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績	33,223	△513	△319	△357	△12 円 48 銭

2. 修正の理由

この冬に向けた節電、防災、省エネ意識が予想以上に高まり、暖房機器では特に電気を使わないポータブル石油ストーブが市場で注目を集め、早期の実販が進んだこともあり、売上高は大きく伸長しました。また、消費電力の少ない石油ファンヒーターも予想を上回るなど、暖房機器の売上高は全般にわたり大変好調に推移しました。

空調・家電機器では、北陸、東北地方を除き全国的に平年と比べ梅雨入りが早く、除湿機の販売が好調でした。また冷房専用エアコンや窓用エアコンの販売も順調に進み、空調・家電機器全体の売上高は予想を上回る見込みです。

住宅設備機器では、市場の環境は厳しいものの売上高はほぼ予想どおりに推移しました。

以上により、売上、利益とも前回発表予想を上回る見通しとなったため、平成23年5月13日に公表した第2四半期連結累計期間における業績予想を上記のとおり修正します。

通期の業績予想につきましては、現在集計中であり、あらためて発表させていただきます。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上